

令和 7 年 5 月 23 日

「令和 6 年度自己点検・評価に係る学校関係者評価委員会」

1. 学校法人国際総合学園 国際情報工科自動車大学校における「令和 6 年度自己点検・評価」は、令和 7 年 4 月 12 日に前年度の点検評価結果に係る改善内容も視野に入れ、自己点検・評価を実施し、令和 7 年 5 月 22 日に学校評価委員会 5 名（欠席 1 名）に対し学内職員 3 名で報告を行い、本書のとおり報告書をまとめた。
本校の自己点検・評価については一般社団法人全国専門学校教育研究会の策定した、自己点検・評価報告書「作成ハンドブック・作成マニュアル」を基本に進めた。
2. 全国専門学校教育研究会版「作成マニュアル」の自己点検・評価基準をベースに、自己点検・評価を行い、その結果を根拠資料と共に提出。その過程において、不備な点等の改善について、今後の方向性を協議するとともに、次年度以降の取り組み課題とした。
3. 今後の課題として、令和 7 年度学校関係者評価を受け一定の方向性を持って、学校評価を進めて行くことにより、本校における質の保証・向上のなお一層の取組充実が図れるよう努めていきたい。

学校関係者評価報告書（「学校関係者評価委員会」報告）

1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

自己点検・評価 3.6 学校関係者評価 3.6

1) 教育理念（建学の精神）

（教育理念）

「将来の職業に関する高い専門能力を追求しながら単に知識・技術教育に偏ることなく、広い視野と豊かな人間性を持った、創造性に満ちた人材育成の場」であることを教育の基本理念とし、常に変化していく時代に即した工学系専門教育機関として、地域社会の振興はもとより、国際社会の発展に寄与するものである。

- 2) 教育理念（建学の精神）・目的・目標は他者が確認できる状況を構築しており、1 から 3 の項目は達成している。4、5 の項目についてもほぼ適切に提示・公表できている。

■評価委員からの意見・質問等

「1 建学の精神・教育理念・教育目的・教育目標」についての意見・質問等はなかった。

2 教育の内容

自己点検・評価 3.3 学校関係者評価 3.3

- 1) 教育内容についてほぼ適正に取り組まが行われている。
- 2) カリキュラム編成、シラバス作成は滞りなく計画的に実施されているため継続して取り組む。
- 3) 7 の項目「各教員からの提出」に関して、担当教員を決め必要なシラバスが提出されていることから令和 5 年度から評価を修正
- 4) 21 の項目「他の高等教育機関との連携講座等を行っているか」について姉妹校との連携実習として建築デザイン科がリノベーション実習を実施したことから評価を修正。
今後も他校との連携を強化。

■評価委員からの意見・質問等

- ・委員から企業連携について積極的に協力しますとの意見を頂いた。次年度連携実習の実施に向け教育課程編成委員会で具体的な内容を協議する。

3 教育の実施体制

自己点検・評価 3.8 学校関係者評価 3.8

- 1) 教育の実勢体制についてほぼ適正に整備されている。
- 2) 3 の項目「図書室・図書コーナー等があるか」では校舎内に図書室が設置されていないが、委員からの助言により各教室の一角に設置を行っている。
- 3) 5 の項目「就職支援を行う指定された場所」については、教室数の問題から、専用場所は設けていない。以前の委員会で Web でも“場所”になるのではとの意見を頂き Microsoft teams を使用し就職についての情報が閲覧できるよう整備している。

■評価委員からの意見・質問等

- ・「3 教育の実施体制」についての意見・質問等はなかった。

4 教育目標の達成度と教育効果

自己点検・評価 3.8 学校関係者評価 3.8

- 1) 教育目標の達成と教育効果について適正に取り組みと評価が行われている。
- 2) 20 の項目「1 年後の就業状況の把握」については同窓会との連携を検討中。
- 3) 21 の項目「1 年後の就業状況の公表」については令和 6 年度の委員会で、母数が約 200 名程度と少ないため、個人が特定されないよう公表しない方針をとっても良いとの意見を頂き、学内で検討した結果公表しない方針とした。今後、個人が特定されない公表方法を検討する。

■評価委員からの意見・質問等

- ・卒業生の就業状況調査の際に離職者に対して離職理由を確認してほしいとの意見を頂いたため、調査項目・方法を検討する。

5 学生支援

自己点検・評価 3.3 学校関係者評価 3.3

- 1) 学生支援について入試から入学・在籍まで基本的な学生支援は構築出来ている。
- 2) 10 の項目「キャリアサポート関連の有資格者」については、前回の委員会での意見をもとに、すぐに必要な状況にないことと、ハローワークと連携しキャリアカウンセラーへの相談ができる体制があるため評価を修正している。
- 3) 20 の項目「卒業生への講習・研修」については、令和 5 年度に卒業後も支援を継続できる環境構築の一つとして、同窓会と連携し卒業生向けにセミナーを開催したが、希望者が少なく令和 6 年度については開催を見送ったため評価を修正している。

■評価委員からの意見等

- ・「5 学生支援」についての意見・質問等はなかった。

6 社会的活動

自己点検・評価 3.0 学校関係者評価 3.0

- 1) 社会的活動についてほぼ適切に取り組まが行われている。
- 2) 5 の項目「社会的活動の評価・単位認定」については令和 5 年度にからドローンスペシャリスト科の学生が、地元企業への貢献として、郡山市と連携し Z 世代が作る企業 PR 動画作成事業に授業として参加。令和 6 年度も同様に実施。

■評価委員からの意見・質問等

- ・「6 社会的活動」についての意見・質問等はなかった。

7 管理運営

自己点検・評価 4.0 学校関係者評価 4.0

- 1) 管理運営について基本的な管理・運営体制は確立されている。

■評価委員からの意見・質問等

- ・「7 管理運営」についての意見・質問等はなかった。

8 財務

自己点検・評価 4.0 学校関係者評価 4.0

- 1) 財務について予算計画、執行、会計において公正に運営されている。

■評価委員からの意見・質問等

- ・「8 財務」についての意見・質問等はなかった。

9 改革・改善

自己点検・評価 3.8 学校関係者評価 3.8

- 1) 改革・改善について自己点検・評価は平成 25 年度より継続しており、報告書の作成と共に、毎年適正に HP で公表している。

■評価委員からの意見・質問等

- ・「9 改革・改善」についての意見・質問等はなかった。

その他

■評価委員からの意見・質問等

- ・特に意見・質問等はなかったが、適切に運営できているとの評価を頂いた。次回の自己点検についても適切に評価できるよう努めていく。

以上

◆学校関係者評価委員

- ・ I G D A 日本 副理事長
- ・ 公益財団法人 福島県建築士会
- ・ 福島大学 教授
- ・ 有限会社 山ノ井商事 代表取締役
- ・ 光栄電気通信工業株式会社 代表取締役

◆学校側報告者

- ・ 学校長 佐藤 善邦
- ・ 副校長 阿部 一則
- ・ 教務部長 鈴木 友二